

患者さんへ

「重症救急患者に対する集中治療医早期介入スキーム導入前後の経年的評価」

この研究は、通常の診療で得られた記録を使って行われます。このような研究では、国が定めた指針に基づき、対象となる患者さんのお一人ずつから直接同意を得ることが困難な場合には、研究の目的を含む研究の実施についての情報を公開することが必要とされています。

なお、研究結果は学会等で発表されることがありますが、その際も個人を特定する情報は公表いたしません。

1 研究の対象	2023年4月から2025年3月までの間に、救急外来経由で集中治療室入室となった/なる方(入室前に手術及びカテーテル治療等を受けられた方を除く)
2 研究目的・方法	救急外来には多数の救急患者さんが受診されるため混雑が起こりやすく、重症患者さんに対する医療スタッフの不足が発生することがあります。当院では2024年4月より重症患者さんに集中治療チームが早期に介入し、集中治療室に入室をスムーズに行う取り組みを開始致しました。 本研究では、取り組みの開始前後での救急外来滞在時間及び患者さんのその後の経過に与える影響を電子カルテに記載されている情報から評価を行います。 研究の期間:施設院長許可(2024年8月予定)後~2028年3月
3 情報の利用拒否	情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんのご家族等で患者さんの意思及び利益を代弁できる代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としません。その場合は、「5. お問い合わせ先」までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。 ただし、ご了承頂けない旨の意思表示があった時点で既にデータ解析が終わっている場合など、データから除けない場合もあり、ご希望に添えない場合もあります。
4 研究に用いる情報の種類	情報:年齢、性別、原疾患、併存症、救急外来滞在時間、人工呼吸器及び昇圧剤使用の有無、検査データ、経過等
5 お問い合わせ先	本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。 研究責任者、照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先: 小山洋史 湘南鎌倉総合病院 集中治療科 神奈川県鎌倉市岡本 1370-1 電話番号:0467-46-1717

2024年8月29日作成(第1.1版)